

令和7年度 JRローカル線 維持・利用促進協議会 次第

日時：令和7年7月28日（月）10：00～11：30

場所：兵庫県2号館5階庁議室

1. 開 会

2. 議 題

（1）各路線ワーキングチームの報告 . . . 資料1

（2）広域的な取組 . . . 資料2

（3）意見交換

3. 閉 会

【参考資料】

- | | |
|--------------------------|-------|
| ・各ワーキングチームの令和6年度の実施結果一覧 | 参考資料1 |
| ・JRローカル線 維持・利用促進協議会 設置要綱 | 参考資料2 |

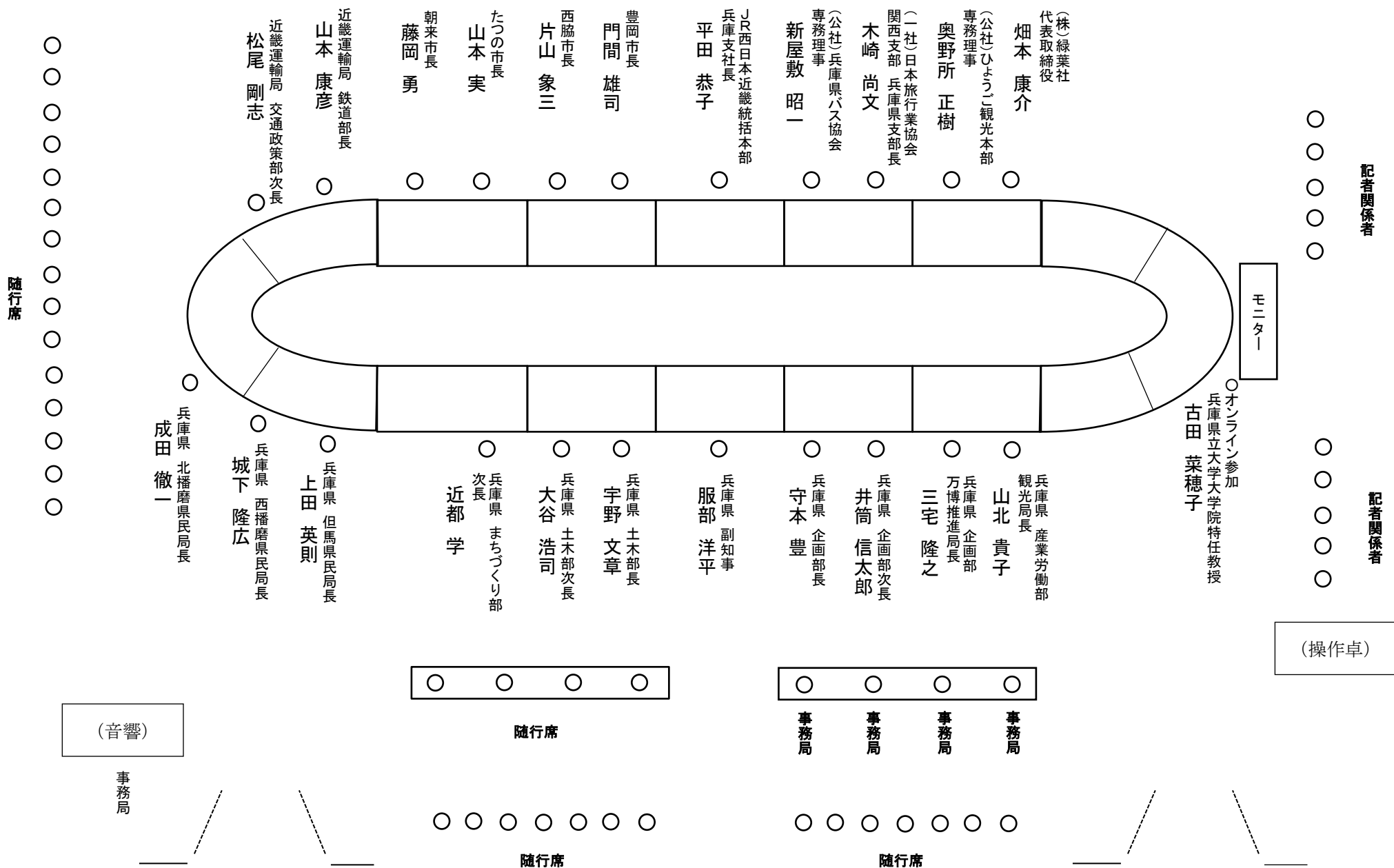
令和7年度 J R 口ーカル線 維持・利用促進協議会 出席者

区 分		氏名	所属・役職	備考
W T 代表 (沿線市町)		門間 雄司	豊岡市長（山陰線W T 代表）	
		片山 象三	西脇市長（加古川線W T 代表）	
		山本 実	たつの市長（姫新線W T 代表）	
		藤岡 勇	朝来市長（播但線W T 代表）	
J R 西日本		平田 恭子	近畿統括本部兵庫支社長	
交通事業者		長尾 真	(公社)兵庫県バス協会長	※代理出席 専務理事 新屋敷 昭一
観光事業者		木崎 尚文	(一社)日本旅行業協会関西支部 兵庫県支部長	
有識者	交 通	谷本 圭志	鳥取大学教授	欠席
	まちづくり	畑本 康介	(株)緑葉社代表取締役	
	観 光	古田 菜穂子	兵庫県立大学大学院特任教授	オンライン参加
ひょうご観光本部		奥野所 正樹	専務理事	
兵庫県		服部 洋平	副知事	
		守本 豊	企画部長	
		宇野 文章	土木部長	
		井筒 信太郎	企画部次長	
		大谷 浩司	土木部次長	
		三宅 隆之	企画部万博推進局長	
		山北 貴子	産業労働部観光局長	
		近都 学	まちづくり部次長	

(オブザーバー)

近畿運輸局	平山 耕史	交通政策部長	※代理出席 交通政策部次長 松尾 剛志
	山本 康彦	鉄道部長	
W T 事務局	上田 英則	但馬県民局長（山陰線・播但線W T）	
	成田 徹一	北播磨県民局長（加古川線W T）	
	城下 隆広	西播磨県民局長（姫新線W T）	

配席図



令和 6 年度の主な取組結果等

山陰線WT

R6の方向性

- 2次交通の強化を図りつつ、鉄道運行の持続的な確保と利便性の向上につながる仕組みづくりを目指す。
 - ①竹野地域と連携した取組の拡充（豊岡市）
 - ②デマンド交通実証実験を通じた将来の公共交通を考える機会の創出や自動運転バスの実証実験による将来を見据えた公共交通の検討（養父市）
 - ③「意識の醸成」「利用促進」「新たな移動手段の導入」の3本柱での公共交通政策の展開（朝来市）
 - ④広報活動の強化による鉄道利用促進（香美町）
 - ⑤町民の鉄道利用機会の増加と鉄道路線維持に対する意識の高揚（新温泉町）



【「乗って守ろう！竹野駅ペイ」】



【やぶくる運行エリア拡大】

R6の総括

- 交通政策にかかる広域連携機運の醸成
- キャッシュレス決済導入に向けた検討協議の加速
- 広域連携利用促進キャンペーンの取り組み
- 特急はまかぜの重要性を認識
(かにカニはまかぜ・はなあかり)



【鉄道利用促進助成事業】



【鉄道往復利用支援事業】

1 「乗って守ろう！竹野駅ペイ」の実施

日常利用の促進

【概要】

事業内容 令和5年度実施した「JR山陰本線利用促進策ワークショップ」からの創出策として、今年度も継続実施
JR竹野駅の売上増加と地域振興を目的に、竹野駅で切符を購入された方に、購入金額に応じ**竹野地域内の観光施設、
宿泊施設、飲食店等**で**使用できるクーポン券（100円/1枚）**を配布する。

特徴 昨年度のクーポン券の換金率約94% 投資が地元商店等に還流される良い施策と判断し、
令和6年度も継続して実施

実施主体 竹野地域公共交通利用促進委員会（R6予算：3,954千円）

実施期間 4月～2月末日

実施結果 【配布実績】12月23日 35,000枚配布完了 【換金実績】**換金率約94.4%**（3月末時点）

【実施状況・課題】 2024年度の乗車券類販売実績はコロナ禍前の2019年度実績と比較し104%増となった。



2 トライやる・ウィーク交通費支援【新】

日常利用の促進

【概要】

事業内容 令和5年度実施した「JR山陰本線利用促進策ワークショップ」からの創出策を実施
小中学生が公共交通に乗る「きっかけ」づくりや「地域の公共交通に対する問題意識の喚起」を
目的に、市内の中学2年生が実施する**トライやる・ウィーク**において、**体験活動先の事業所へ移
動する際に公共交通を利用**してもらい、利用した**公共交通の費用支援**を実施

特徴 交通事業者と連携し、特別乗車証等を生徒に配布

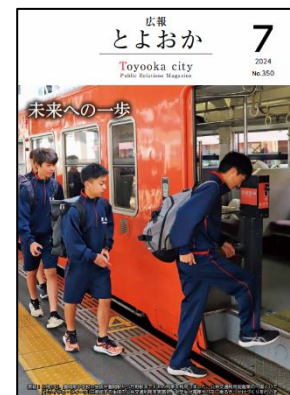
実施主体 豊岡市（R6予算：436千円）

実施期間 5月～6月

実施結果 延べ93名の生徒が利用（JR24名、路線バス61名、市営バス8名）

【実施状況・課題】 豊岡市立豊岡南中学校の生徒14名がJRを利用し、竹野地域の事業所を初めての訪問につながり新たな体験機会を
創出できた。

【今後の展開】 公共交通利用の意識付けとしての意義も大きいため、来年度も継続して実施予定



【広報とよおか7月号 表紙】

3 自動運転バス実証事業【新】

日常利用の促進

- 【概 要】
- 事業内容 養父市においても、「ドライバー不足の解消」、「高齢者の移動手段の確保」など持続可能な公共交通体系の構築が大きな課題であり、買物や通院といった日常生活において欠かせない移動手段を確保することが重要となっており、その対応策の1つとして**自動運転バスの実証実験を実施**
- 特 徴 JR八鹿駅を出発点とするルートとし、新モビリティを活用して日常利用の利便性向上と2次交通の利用促進による観光客の増加を目指す。
- 実施体制 養父市、BOLDLY（株）、全但バス（株）、やぶ市観光協会
- 実施期間 1月27日～3月31日実施
- 実施結果 利用人数：**延べ598人**
- 【実施状況・課題】 利用者の約9割が「自動運転バスを再度利用したい」と回答するなど、好意的な意見を多くいただいた。
- 【今後の展開】 令和7年度は車両を増やし、運行ルートを道の駅ようか但馬蔵まで延長することを計画しており、日常利用に加えて観光利用の必要性などを検証する。
(地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）を活用予定)



4 やぶくる運行エリア拡大【新】

日常利用の促進

- 【概 要】
- 事業内容 平成30年5月から大屋、関宮地域においてエリア完結型で運行してきた自家用有償観光旅客等運送事業（通称「やぶくる」）が、令和6年4月1日より、大屋、関宮地域を発着点として、八鹿・養父地域に存在する**JR八鹿駅などの6施設までのスポット運行を開始**
- 特 徴 新たな運行エリアにJR八鹿駅を追加することで、日常利用の利便性向上と2次交通の利用促進を図る。
- 実施主体 NPO法人養父市マイカー運送ネットワーク
- 実施期間 4月1日～スポット運行開始
- 実施結果 利用人数：**延べ790人**（令和5年度実績：400人）
- 【実施状況・課題】 エリア拡大により、利用人数は対前年度比で約2倍に増加したが、スポット利用の多くは病院となっており、JR八鹿駅利用はまだ限定的な状況
- 【今後の展開】 更なる利用者増に向け、引き続き広報周知に努める。



5 鉄道利用促進助成事業

日常利用の促進

【概 要】

事業内容 香美町在住者を対象に町内 5 つの駅（佐津、柴山、香住、鎧、餘部）を発着として **2名以上で往復**する場合の**利用料金**（運賃及び特急料金など）の**半額を助成**する。
※JR営業距離に応じた助成上限あり

実施主体 香美町（R6予算：約2,000千円）

実施期間 令和 6 年度

実施結果 申請：177件、**利用者：393名**、助成金合計：約1,205千円（3月末時点）

【実施状況・課題】 昨年度と同程度の利用となっている。

【今後の展開】 町民への周知を行い、利用者の増加を図る。



6 鉄道往復利用支援事業

日常利用の促進

【概 要】

事業内容 町民が浜坂駅を発着駅として、豊岡（城崎温泉）駅又は鳥取駅を往復利用する場合に、**片道分の乗車券及び鉄道ノベルティを配布**

特 徴 JR山陰線の鉄道運行の持続的な確保と利便性の向上を図るため、町民の鉄道利用増加、路線維持に対する意識高揚を目的とする。

実施主体 新温泉町（R6予算：130千円）

実施期間 7月27日、8月3日、8月18日、9月23日（計 4 日実施）

実施結果 利用者：**延べ75名**（令和 5 年度利用者：延べ133名）

【実施状況・課題】 町民に対し、鉄道の魅力をアピールすることができた。

【今後の展開】 出かけやすい時期に実施する等、事業実施時期を再検討する。



【本年度事業実施の様子】



【鉄道ノベルティ】

7 特急はまかぜ「ちょい乗り」事業【新】

日常利用の促進

【概要】

事業内容 10人以内（1人でも可）の町民の方が、**浜坂駅から鳥取駅まで特急はまかぜを利用**する場合に**片道分の特急券を配布**する。

特徴 乗車券料金のみで特急はまかぜに乗車できる

実施主体 新温泉町（R6予算：129千円）

実施期間 7月27日、8月3日、8月18日、9月23日（計4日実施）

実施結果 利用者：**延べ43名**



【本年度事業実施の様子】

【実施状況・課題】 町民に対し、特急はまかぜの良さをアピールすることができた。

【今後の展開】 事業実施時期およびより利用しやすい仕組みづくりを検討する。

8 鉄道往復団体利用支援事業【新】

日常利用の促進

【概要】

事業内容 10人以上20人以内で町民の方のみの団体が、浜坂駅を発着駅として豊岡（城崎温泉）駅または鳥取駅までの間を**鉄道で往復利用**した場合に**片道分の乗車券を配布**する。

特徴 団体でのレクリエーション等に利用できる。

実施主体 新温泉町（R6予算：130千円※鉄道往復利用支援事業と同予算）

実施期間 8月1日～31日のうち利用希望日

実施結果 **利用団体：1団体**（10名、8月21日利用）



【本年度事業実施の様子】

【実施状況・課題】 利用者ターゲットとしていた子ども会行事としての団体利用があり、鉄道の良さをアピールすることができた。

【今後の展開】 事業実施時期およびより利用しやすい仕組みづくりを検討する。

9 町民ふれあいの旅事業

観光需要の増加

【概要】

事業内容 特急はまかぜを利用した町民ふれあいの旅を実施
(特急はまかぜで行く金刀比羅宮と善通寺参拝 琴平温泉2日間の旅)

特徴 町民の親睦と鉄道の利用促進を図る。

実施主体 マックトラベルサービス (共同企画：新温泉町) (R6予算：430千円)

実施期間 6月14日～15日

実施結果 参加者：27名



【本年度事業実施の様子】

【実施状況・課題】 香川県を訪れ、町民の親睦及び鉄道の利用促進を図ることができた。

【今後の展開】 費用対効果等を考慮し、事業継続か否かを検討する。

10 特急はまかぜ利用助成金交付事業

日常利用の促進

【概要】

事業内容 町民が特急はまかぜを利用した際の乗車券等の運賃を助成

特徴 特急はまかぜの利用促進を図る。

実施主体 新温泉町 (R6予算：1,050千円)

実施期間 令和6年度

実施結果 利用者：延べ344名

(令和5年度利用者：延べ424名)

【実施状況・課題】 町民が移動手段で鉄道(特急はまかぜ)を選択するきっかけとなった。

【今後の展開】 新規利用者を確保できるよう、広報・周知に努める。



【広報チラシ】

11 WESTERへの情報集約

観光需要の増加

【概要】

事業内容 各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して積極的に情報を発信する。

実施主体 JR西日本、沿線自治体

実施期間 通年

実施結果 豊岡市 : スポット39件、イベント30件
 養父市 : スポット12件、イベント16件
 朝来市 : スポット15件、イベント13件
 香美町 : スポット14件、イベント9件
 新温泉町 : スポット11件、イベント15件 ※いずれもR7.5月時点

【実施状況・課題】 イベント数は好調に増えている。

【今後の展開】 JRとしては引き続き、イベント等を通じてWESTER新規DL数を増やす。



12 兵庫県但馬キャンペーン ひょうこと巡る 山陰線・播但線の旅

観光需要の増加

【概要】

事業内容 「駅メモ！」シリーズとコラボしたデジタルスタンプラリー

特徴 対象駅（12駅）や観光施設（15箇所）にチェックインポイントを設定

実施主体 JR西日本、沿線自治体

実施期間 2月23日～9月23日

実施結果 参加者：8,825名

【実施状況・課題】

- ・ラッピング列車の運行
- ・普通列車内でのポスター、城崎温泉駅でのオリジナル駅名標の設置
- ・車内の中吊りや主な駅のデジタルサイネージを用いた広告

【今後の展開】

- ・今後、鉄道利用に繋がったか検証する。



【オリジナル駅名標】



【大阪駅デジタルサイネージ】

13 兵庫DCアフターキャンペーン [新]

観光需要の増加

【概要】

事業内容 JR西日本と自治体、地元観光業者、旅行会社等が一体となった観光キャンペーン

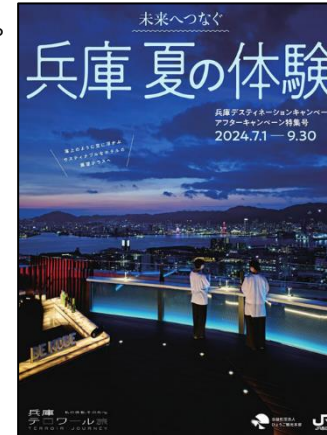
特徴 大阪・奈良・京都を含むデジタルパスを発売し、幅広く誘客を図る。

実施主体 JR西日本、兵庫県、沿線自治体

実施期間 7月1日～9月30日

【実施状況・課題】

- ・ひょうご夏の体験デジタルパス（2日間用・3日間用）の発売
- ・ガイドブックの配布、ポスターの掲出
- ・城崎温泉駅でのオープニングセレモニー



14 サイコロきっぷ

観光需要の増加

【概要】

事業内容 大阪駅からサイコロの出目で決まる着地※までの往復JR 普通車指定席（新幹線・特急列車）が利用できる商品
※城崎温泉駅、白浜駅、宮島口駅、博多駅

特徴 5,000円（月～木出発）または8,000円（金、土、日出発）で発売

実施主体 JR西日本

実施期間 5月24日～7月11日

実施結果 城崎温泉駅へ約3,700名が利用

【実施状況・課題】 新聞やテレビに取り上げられ話題となった。

【今後の展開】 現時点で今後の発売予定はない。



15 かに力二はまかぜ・はなあかりの運行【新】

観光需要の増加

【概要】

事業内容 臨時特急「かに力二はまかぜ」に「地域の華を列車に集め、お客様と地域の縁を結ぶ列車」をコンセプトにした観光列車「はなあかり」を増結することで、北近畿への旅をゆったりと贅沢にお楽しみいただく。

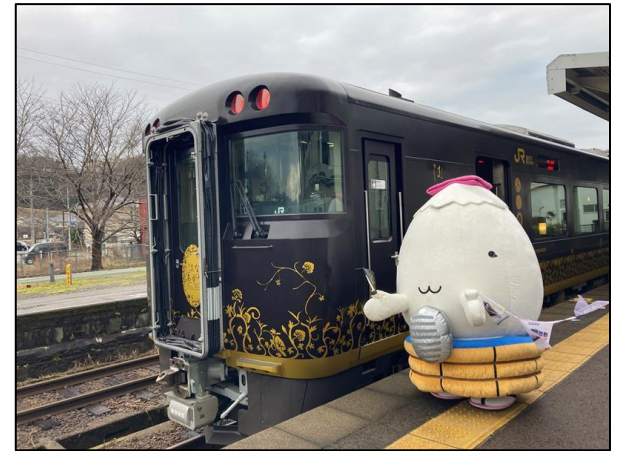
特徴 車内で兵庫県内の工芸品・アート作品を展示

実施主体 JR西日本

実施期間 1月6日～3月14日 ※木曜日除く。

【実施状況・課題】 新聞やテレビに取り上げられ話題作りができています。

【今後の展開】 観光列車等を通じて、地域の魅力を発信していく。



【はなあかりと湯～たん】

16 持続可能な公共交通体系の構築

観光需要の増加

日常利用の促進

【概要】

事業内容 交通連合の設立を見据えた取組

実施主体 但馬県民局、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町、交通事業者（JR西日本、全但バス）

実施期間 令和6年度

実施結果 但馬地域でのキャッシュレス導入については、山陰本線利活用担当者会議（10月21日、11月6日実施）、但馬地域公共交通担当課長会議（12月27日実施）にて調整
共創・MaaS実証プロジェクト「モビリティ人材育成事業」への申請については、交通連合設立準備会（6月7日実施）にて協議、山陰本線利活用検討会議首長会議（9月26日実施）において令和7年度での申請を報告

【今後の展開】 引き続き、但馬地域へのキャッシュレス導入に向けた調整や、公共交通の利便増進に向けた人材育成事業の実施に向けた準備を行っていく。

令和 7 年度の取組

山陰線WT

R7の方向性

- キャッシュレス決済導入に向けた検討
- 但馬地域全体の持続可能な交通体系の構築とシームレスな移動の実現に向けた検討
- 交通施策のキーマンとなる人材育成



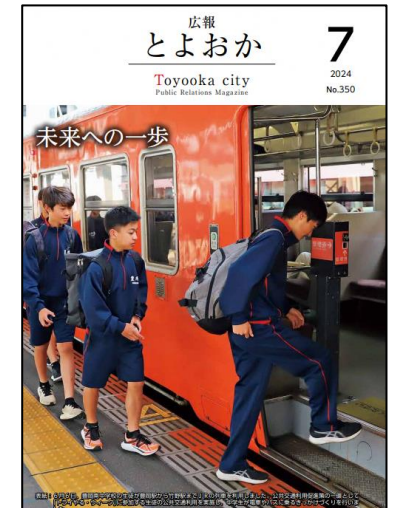
【自動運転バス実証事業】



【1日乗車券500円観光バス「たじまわる」】



【特急はまかぜ「ちょい乗り」事業】



【トライやる・ウィーク交通費支援】

令和7年度の取組（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
「乗って守ろう！竹野駅ペイ」の実施	竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で使用できるクーポン券(100円/1枚)を配布	4,000千円	竹野地域公共交通 利用促進委員会	●	●	
トライやる・ウィーク交通費支援	トライやる・ウィークにおいて、体験活動先の事業所へ移動する際の公共交通機関を利用した際の費用を支援	420千円	豊岡市	●		
竹野駅乗車券類等簡易委託販売業務	竹野駅での乗車券類の販売、日常清掃業務、利用者の利便性向上に資する業務	2,280千円	豊岡市 (一社)たけの観光協会	●		
市職員公共交通利用	市職員の市内移動、域内出張に公共交通機関を利用	300千円	豊岡市	●		
e通勤プロジェクト	公共交通機関を利用した通勤の推奨	—	豊岡市	●		
募集型企画旅行の実施	地元住民を対象に特急列車を利用した募集型企画旅行を月1回程度実施	—	竹野駅を愛する会		●	
養父市関宮小さな拠点づくり 共創プラットフォーム事業	市が進める「関宮小さな拠点」を、地域の移動手段と路線バスとの結節点として運用することを想定し、旧関宮地域の交通体系を検討する中で、デマンド交通実証実験を実施	19,244千円 (予算総額) 4,715千円 (養父市負担分)	養父市 交通事業者等	●		
自動運転バス実証実験	自動運転バスの導入により新たな交通体系の在り方を検討	96,050千円 (当初予算) ※国補助の 採択状況による	養父市 BOLDLY(株) 全但バス(株) やぶ市観光協会	●		

令和7年度の取組（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
デマンド型乗合交通の活用 （播但線再掲）	市内全域で導入されたデマンド型乗合交通を活用し、2次交通の充実を図る。	128,605 千円	朝来市	●	●	●
情報発信（播但線再掲）	ケーブルテレビや市広報誌、SNSなどの情報媒体を使った情報発信の実施	—	朝来市	●		●
利用促進（播但線再掲）	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進の実施(市職員による利用促進の取組など)	—	朝来市	●	●	●
【拡】JR和田山駅周辺整備事業 （播但線再掲）	JR和田山駅周辺の利便性向上を図るため、令和7年度は、南北自由通路の基本設計、駅南ロータリーの整備等を予定	91,000千円	朝来市	●		●
鉄道利用促進助成事業	香美町在住者が町内5駅を発着として2名以上で往復する場合の利用料金の半額を助成	2,000千円	香美町	●		
特急はまかぜ利用助成金事業	町民が特急はまかぜを利用(町内にある4つの駅から大阪駅までの運行区間内)した場合に利用に係る乗車券や特急券の購入費用を助成	1,050千円	新温泉町	●		
鉄道往復利用支援事業	町民が浜坂駅を発着駅として、豊岡(城崎温泉)駅または鳥取駅を往復利用する場合に片道分の乗車券及び鉄道ノベルティを配布	209千円	新温泉町	●		

令和7年度の取組（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
特急はまかぜ「ちょい乗り」事業	町民が浜坂駅発の特急はまかぜを利用する場合に片道分の特急券及び鉄道ノベルティを配布	129千円	新温泉町	●		
町民ふれあいの旅	特急はまかぜを利用した町民ふれあいの旅を実施	388千円	新温泉町			●
職員公共交通利用出張	職員の効率的出張を図るため、公用車の乗り合わせ出張をする一方、神戸等への職員一人の出張については特急はまかぜを利用して出張することにより、鉄道の利用促進を図る。	875千円	新温泉町	●		
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業	駅周辺の賑わいを生み出す取組を行う事業者等を対象に、事業費の一部を補助(補助率1/2、上限200千円)	200千円×2	兵庫県 (市町協調)	●	●	●
車両基地見学会	地域住民(子ども)を対象に豊岡駅構内の車両基地見学会を実施		但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●		
JRハイキング造成モデル事業	山陰本線(竹野～居組間に限る)の駅を起終点とし、山陰本線利用者を対象にしたガイド付きハイキングツアー造成を支援し、同線の魅力向上及び利用拡大を図る。	750千円	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●		
レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次アクセスを充実 【期間】4月13日～11月30日		但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会		●	

令和7年度の取組（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】但馬地域における公共交通の 利便増進に向けた人材育成事業	各ステークホルダーや既存ネットワークで顕在化している課題の共有と解決に向けた方策、 「持続可能な公共交通体系」の方向性を整理し、 広域連携を主導できる人財を育成する。 また、乗継の利便性向上、運賃収受方法の統一化、共通運賃制度等を念頭に置いた連携の可能性を検討する。 （「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト「モビリティ人材育成事業」（国庫10/10）を活用）	14,769千円 （国庫補助金 交付決定額 による）	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●	●	
【新】「乗って守ろう！山陰本線 『浜坂・香住・竹野駅ペイ』」の実施	新温泉町浜坂地域、香美町香住地域及び豊岡市竹野地域内の観光施設、宿泊施設、飲食店等で 使用できるクーポン券(100円/1枚)を配布	1,767千円	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●	●	
【新】FPデジタルスタンプラリー	但馬のFP等の周遊を促すデジタルスタンプラリーを実施し、各FPの魅力を体感してもらう。 【期間】11月～1月(予定)	1,163千円	兵庫県		●	
1日乗車券500円観光バス 「たじまわる」の運行	JR各駅等と観光地を結ぶ1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の運行を軸に、主要観光地の2次交通を確保 ガイド無料や観光施設入館無料など、立ち寄り先での特別体験を企画	15,180千円	但馬観光協議会		●	
但馬観光の将来を見据えた 地域内周遊の促進	大阪・関西万博やワールドマスタースゲームズ関西を契機に発展を目指す地域コンテンツへ観光客を送客する2次交通手段の確保や、今後の運行に向けた検証・検討のため、交通事業者が実施する周遊観光に資する事業に対し、事業費の一部を支援し観光地と公共交通機関を結ぶ2次交通の充実を推進	1,000千円	兵庫県		●	

令和7年度の取組（一覧）

山陰本線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
<u>WESTERへの情報集約</u>	各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して情報発信	—	JR西日本 各自治体		●	
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信	—	JR西日本		●	
<u>かに力二はまかぜの運行(予定)</u>	冬季に臨時特急「かに力二はまかぜ」を運行	—	JR西日本		●	
<u>【新】利用促進リーフレットの作成(予定)</u>	普段鉄道をご利用されていない住民の皆さまに向けて、沿線のお出かけスポット、施設と共に山陰線(城崎温泉～浜坂)の置かれている現状を知っていただくことで利用促進に繋げるリーフレットを作成	—	JR西日本		●	
<u>【新】ご利用実態調査(予定)</u>	乗車・降車駅、目的、利用頻度、2次交通等についてのアンケート調査を実施	—	JR西日本		●	
沿線行事のP R	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出	—	JR西日本		●	
<u>【新】週末開催！西日本じまん市</u>	万博開催期間中にJR西日本と地域が連携し、大阪駅、新大阪駅を舞台に地域の魅力を発信	—	JR西日本、沿線自治体		●	

令和 6 年度の主な取組結果等

加古川線WT

R6の方向性

○ 鉄道利用の気運醸成と利用促進への支援

高校生等の通学、沿線企業従業員の通勤などの日常利用促進や、地域住民が主体となった駅周辺の賑わいづくりに対する支援を通じて、鉄道利用の気運醸成と継続した利用促進につなげる。

○ イベント等の連携・情報発信等協力体制の強化

各団体が実施するイベント等での相互連携、他の団体の取組とのコラボ、チラシの配布、記者発表等の協力体制を強化する。

○ 加古川線全線開業100周年を契機とした利用促進策の展開

特に、令和6年度は加古川線全線開業100周年の節目であることから、各団体が行う事業に、「ありがとう&おめでとう加古川線全線開業100周年」のキャッチフレーズを掲げ、JRと連携して、さらなる利用促進を図る。

R6の総括

○ 鉄道利用の気運醸成と利用促進への支援

- ・沿線住民が中心となり「JR加古川線(西脇市駅－谷川駅)維持・利用促進地域協議会」(地域協議会)が発足されるなど、路線の維持に向けた気運が高まっている。
- ・日常利用促進に向けた「通学定期券購入補助事業」(61名)、新規事業の「社会学習利用助成」(420名)、「団体利用助成」(379名)では、多くの方に利用していただき、鉄道利用がさらに促進された。
- ・引き続き、鉄道利用の気運醸成や助成制度の充実、地域と連携した地域住民が主体となった賑わいづくりを進めていく。

○ イベント等の連携・情報発信等協力体制の強化

- ・JR加古川線リレーマルシェ等駅周辺イベントでは、地元自治会や地域協議会、沿線高校等と連携して開催した。
- ・沿線地域の様々な団体と相互連携し、イベントを開催することで、多くの方に参加いただき、利用促進につながった。引き続き、連携、協力体制のもと事業を実施していく。(イベント日数7日間、イベント参加総人数 約8,200人、加古川線利用者数 約700人)

○ 加古川線全線開業100周年を契機とした利用促進策の展開

- ・7月7日に記念セレモニーや六角精児さんのライブ&トークショー、ラッピング列車の運行を開始。また、12月27日に谷川駅で斎藤雪乃さんのお一日駅長等の100周年記念イベントを開催。さらに、100周年特設サイトやメッセージ動画を作成するなど、利用促進事業を実施した。
- ・JR西日本と行政機関等が連携して実施した100周年記念事業で、加古川線のことを広く周知することができた。これを契機に、引き続き、JR加古川線(西脇市～谷川間)の情報発信、気運醸成を行っていく。

1 JR加古川線(西脇市駅－谷川駅)維持・利用促進地域協議会の発足【新】

日常利用の促進

観光需要の増加

【概 要】

事業内容 沿線地域住民が中心となり、住民への鉄道利用の呼びかけ、**鉄道利用促進事業等を行う地域組織を発足**

実施主体 JR加古川線(西脇市駅－谷川駅)維持・利用促進地域協議会
構成：黒田庄まちづくり協議会、比延地区自治協議会、久下自治振興会
(R6予算・1,000千円〔西脇市：丹波市＝1：1〕)



横断幕

実施結果 6/30 設立会の開催、8/20 横断幕の作成、JR加古川線リレーマルシェ(8/22 久下村夜市、11/3比也野まつり、3/7久下村夜市) 出店、11/24「あつまっ亭感謝祭」の開催、JR加古川線利用啓発チラシの作成・配布等

【成果・課題】 組織設立を契機に地元への利用促進活動を推進した。沿線の**交通要所など9カ所に鉄道利用を呼び掛ける横断幕を掲出**するとともに、**各地域において鉄道利用促進イベントを実施**。沿線住民の意識醸成につながる継続した活動・取組が必要。

【今後の展開】 構成する3地域の相互連携を深め、継続的に住民への呼びかけや利用促進に係る取組を進めていく。

2 通学定期券購入補助と通学定期券購入者自転車貸出事業【拡】

日常利用の促進

【概 要】

事業内容

- ① **定期券購入補助** (実施主体：西脇市、丹波市 R6予算額：1,582千円)
通学定期券を購入する学生に対し購入費の一部を助成
- ② (新) **自転車貸出事業** (実施主体：西脇市 R6予算額：3,056千円)
通勤・通学定期券購入者へ自転車の無償貸出を行い、駅からの二次交通の確保につなげる。

実施期間 4月～

実施結果 **利用者：①61名 ②12名**



無償貸出自転車

【成果・課題】 ①昨年度に比べ利用者が18名増加した。自転車通学から電車通学へ変更した利用者もあり、好評を得ている。
②利用者からは非常に助かると好評を得ている。より多くの方に有効に利用いただけるよう更なる周知が必要

【今後の展開】 ①引き続き同制度を継続するとともに、通勤定期券購入者などへの支援を検討し、鉄道の日常利用を促進する。
②通勤定期券購入者など鉄道利用者で2次交通が必要な方に貸し出し範囲を広げるよう検討を進める。

3 加古川線利用助成事業〔新〕

日常利用の促進

観光需要の増加

【概要】

事業内容

- ① **社会学習利用助成**・・・学校園等が加古川線を利用して行う社会学習活動に対し運賃を助成
- ② **団体利用助成**・・・5名以上の団体利用に対し運賃を助成

実施主体 西脇市、丹波市（R6予算額：①550千円、②800千円）

実施期間 4月～

実施結果 利用者:①**小学校3校（180名）、中学校2校（212名）、こども園1園（28名）**
②**24団体（379名）**



黒田庄中の全校生徒による遠足利用

【成果・課題】 沿線の学校園や一般の団体で補助制度を利用した鉄道利用を進めることができた。今後、この地域で活動の幅を広げていく若い世代や、一般の方のJR加古川線への愛着を育むため、より多くの方に制度を利用してもらうことが必要。

【今後の展開】 引き続き、多くの方に鉄道を利用してもらうため周知を進めるとともに、より利用しやすい制度となるよう検討を進める。

4 地元自治会等と連携したリレーマルシェ等駅周辺イベントの開催

日常利用の促進

観光需要の増加

【概要】

事業内容 駅周辺での賑わい創出、加古川線の利用促進を目指し、地元自治会、高校生等と連携したマルシェなどを開催（R6予算額：3,779千円ほか）

実施結果

①久下村夜市〔実施主体：久下自治振興会、丹波県民局〕

- ・8/22開催、参加者 約 900名、うち**加古川線利用者 約 270名**
- ・3/7～9開催、参加者 1,115名、うち**加古川線利用者 186名**

②JR加古川線カルチャー＆フェスティバル〔実施主体：北播磨県民局、協力：西脇高校、氷上高校〕

- ・10/20開催、参加者 約 4,100名 ※ うち**加古川線利用者 82名** ※参加者数はでんくうまつり等他連携イベントの総人数

③比也野まつり〔実施主体：比延地区自治協議会、北播磨県民局〕

- ・11/3 開催、参加者 約1,700名、うち**加古川線利用者 80名**

④あつまっ亭感謝祭〔実施主体：JR加古川線（西脇市駅－谷川駅）維持・利用促進地域協議会、黒田庄まちづくり協議会〕

- ・11/24開催、参加者 約450名、うち**加古川線利用者80名**



久下村夜市

【成果・課題】 地域と連携することで、地域住民をはじめ、多くの方に参加してもらうことができた。さらなる地元意識の醸成につながるよう多くの住民をまきこんだ取組が必要。

【今後の展開】 地元意識を醸成し、地元住民等の発意による主体的な賑わいづくりにつなげていく。

5 地元高校生デザインの播州織中づくり広告による鉄道利用促進

日常利用の促進

観光需要の増加

【概要】

事業内容 県立西脇高校の生徒がデザインした**播州織中づくり広告の車内掲示**による鉄道利用の呼びかけ

実施主体 西脇市、北播磨県民局（協力：西脇高校、繊維工業技術支援センター）（R6予算400千円）

実施結果

沿線の県立西脇高校の生徒、県立繊維工業技術支援センターの協力により、100周年のキャッチフレーズや駅名称、市のマスコットキャラクター“にっしー”（西脇市）、“ちーたん”（丹波市）がデザインされた播州織中づくり広告を作成。昨年作成した播州織中づくり広告とともに、JR加古川線全車両内に掲示した。（1車両に2列）
（期間：11.28~12.11）



播州織中づくり広告

【成果】 地元の高校生デザインの播州織を織り上げるという話題性が功を奏し、新聞でも紹介されるなど広く加古川線をプロモーションすることができた。中には入手したいという問い合わせもあった。

【今後の展開】 わが町考え隊（hcc）や播州織生産者と連携し、播州織の手ぬぐいなどの開発を進め、加古川線と播州織を絡めた広報戦略につなげる。（2/9のマルトリエにおいて、播州織手ぬぐいの数量限定販売を実施。）

6 加古川線プロモーション動画放映、ポスター掲出【新】

観光需要の増加

【概要】

事業内容 **西脇市、丹波市の特産品やお出かけスポット**を紹介する広告を**京阪神エリアの駅や車内で実施**。

実施主体 JR西日本、西脇市、丹波市

実施期間 令和6年12月16日～令和7年1月31日

実施結果

- ・京阪神エリア各駅（254駅）でのポスター掲出（706枚）
- ・JR神戸線、JR京都線、JR宝塚線等でのWESTビジョン放映※1と中づくり広告掲出
- ・大阪駅、三ノ宮駅でのJ・ADビジョンWESTの放映※2

※1 WESTビジョン：列車搭載型デジタルサイネージ

※2 J・ADビジョンWEST：駅構内の改札付近に設置されるデジタルサイネージ



新快速車内中づくり広告



大阪駅のJ・ADビジョンWEST

【成果】 駅や車内で通行人にPRできた。その他、市役所やウイング神姫のバス車内でも掲出。

【今後の展開】 引き続き沿線地域の魅力を発信し、大阪・関西万博期間中の観光需要増加に繋げる。

7 神戸新聞特集記事【新】

日常利用の促進

観光需要の増加

【概要】

事業内容 全線開業100周年を迎える**加古川線の歴史やその現状について発信する神戸新聞の特集記事**。
加古川線の運行を支える社員へのインタビューや三上公也アナウンサーと兵庫支社長の対談を実施。

実施主体 JR西日本

実施結果 ①「産業、生活支え 地域と歩む」(10月19日掲載)
②「安全運行へ鉄道員奮闘」(11月17日掲載)
③「持続可能な未来へ模索」(12月22日掲載)

【成果・課題】 読者からは「加古川線100周年を初めて知った」、「一度乗ってみたい」などの反響があった。

【今後の展開】 沿線住民に対して加古川線の情報発信をして、気運醸成に繋げる。



8 加古川線全線開業100周年記念事業【新】

観光需要の増加

【概要】

事業内容 1924年（大正13年）12月27日に野村駅（現・西脇市駅）～谷川駅間が**開業して100周年**になることを記念し、記念セレモニーやライブ&トークショー、ラッピング列車の運行、記念グッズ作成等を実施。また、加古川線（西脇市-谷川間）全線開業100周年記念事業実行委員会を立ち上げるなど、市・県・JRが一体となって利用促進に取り組んだ。

実施主体

＜西脇市・丹波市＞（R6予算：6,600千円）

①**記念セレモニー**（7/7、参加者650名〔うち鉄道利用者77名〕）

- ・西脇市駅での出発式
- ・俳優 六角精児さんのライブ&トークショー（オリナスにて）

②**車両ラッピング**（R6.7.7～R7.2月末頃）

③**LINE謎解きゲーム「ジェリークエスト」**（R6.11.9～R7.1.31、参加者418名）

＜JR西日本＞

①**オリジナル商品、ノベルティ作成**

②**100周年記念イベント開催**（12/27、参加者約300名〔鉄道利用者約200名〕）

- ・斉藤雪乃さん一日駅長就任、餅まき、ジャンケン大会、記念乗車証の配付等

＜加古川線（西脇市～谷川間）全線開業100周年記念事業実行委員会＞（R6予算：9,900千円）

①**特設サイト**やメッセージ動画作成、イベント出店、**インフルエンサーによるSNS発信**、

- 神戸新聞への特集記事や広告の掲載、播州織ハンカチ、ノート等記念グッズ作成

②**全線開業100周年記念歴史年表作成**と掲示

【成果・課題】 100周年の記念セレモニー、車両ラッピング、ロゴマークやキャッチフレーズ等により、100周年をPRし、市・県・JRが連携して利用促進を図った。また多くの方にJR加古川線の存在を知っていただく契機となったが、まだまだ知らない人が多く、更なる取組が必要

【今後の展開】 100周年記念事業で加古川線のことを広く周知することができた。これを契機に、引き続き、JR加古川線（西脇市～谷川間）の情報発信、気運醸成を行っていく。



100周年メッセージ動画



12/27 100周年記念イベント

令和 7 年度の取組

加古川線WT

R7の方向性

○ 大阪・関西万博に向けた関係機関と連携した利用促進事業の推進

大阪・関西万博を誘客のチャンスと捉え、地元自治体と沿線関係団体、JR西日本等が一丸となった効果的な事業を実施することにより、JR加古川線の更なる利用促進につなげる。

※実施団体

- ・ JR加古川線（西脇市駅－谷川駅）維持・利用促進地域協議会〔黒田庄まちづくり協議会、比延地区自治協議会、久下自治振興会〕
- ・ JR加古川線（西脇市駅～谷川駅間）利用促進協議会〔西脇市、丹波市、北播磨県民局、丹波県民局〕

○ 鉄道利用の気運醸成と利用促進への支援

学生の通学、沿線企業従業員の通勤などの日常利用促進や、地域住民が主体となった駅周辺の賑わいづくりに対する支援を通じて、鉄道利用の気運醸成と継続した利用促進につなげる。

○ イベント等の連携・情報発信等協力体制の強化

各団体が実施するイベント等での相互連携、他の団体の取組とのコラボ、チラシの配布、記者発表等の協力体制を強化する。



令和7年度の取組（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】貸切列車の運行	フィールドパビリオンを巡る貸切列車を運行し、北播磨地域と丹波地域への誘客を促進する。	8,000千円 (各2,000千円)	JR加古川線（西脇市駅～谷川駅間）利用促進協議会		●	
【新】空飛ぶランタンの実施	駅周辺で、加古川線への思いや願いを書いたランタンを夜空に打ち上げるイベントを実施する。				●	
【新】車内中づくり広告の掲示及び鉄道利用促進の呼びかけ	地元高校生等の協力により作成した「播州織中づくり広告」をJR加古川線車内へ掲示し、JR加古川線の利用促進を呼びかける。			●	●	
【新】啓発資材の作成	加古川線に関連したポスターやグッズなどを作成し、利用促進の啓発、PR資材として活用する。			●	●	
【新】JR加古川線利用促進PR	〈イベント来場者等への啓発〉 「西脇市茜が丘複合施設Miraie（みらいえ）」のイベントに来場された方約200名にチラシを配布し、JR加古川線の利用を呼びかけた。 ・イベント名 「あそびマルシェ」 ・実施時期 5月3日（土・祝） ・場 所 西脇市茜が丘複合施設Miraie	－	西脇市、丹波市、北播磨県民局、丹波県民局	●	●	
	〈新聞折込での啓発〉 「加古川線増発時刻表」と「市民向け利用補助案内」を掲載したPRチラシを、西脇市、丹波市に新聞折り込みし、利用促進事業をPRした。 ・実施時期 5月31日（土）朝刊 ・実施世帯数 1.8万世帯	253千円				

令和7年度の取組（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】路線を丸ごとテーマパーク化！ 新たな観光需要の創造による 加古川線利用促進事業	恐竜、播州織にまつわるラッピング列車の運行、車両内や沿線施設などで恐竜ARを獲得できる恐竜探しイベント、加古川線等検定ページを作成するなどにより、誘客促進を図る。	6,000千円	JR加古川線（西脇市駅～谷川駅間）利用促進協議会		●	
「JR加古川線 リレーマルシェ」の開催	〈リレーマルシェ×山田錦日和〉 北播磨地域が誇る酒米の王者「山田錦」を使った日本酒の飲み比べや、関連商品の販売イベントを山田錦日和実行委員会等と共同開催する。 ・実施時期 7月26日（土）16時30分～20時 ・場 所 日本へそ公園駅前	1,200千円	比延地区自治協議会 山田錦日和実行委員会 北播磨県民局	●	●	
	〈へそマルシェ〉 JR加古川線などをテーマにした謎解き企画やワークショップ、お酒やグルメなどのマルシェを開催する。 ・実施時期 8月9日（土）16時30分～20時 ・場 所 日本へそ公園駅前	2,000千円	JR加古川線・神戸電鉄 粟生線・北条鉄道利用 促進協議会	●	●	
	〈久下村夜市〉 久下村駅等の駅前広場等において、キッチンカーや屋台の出店によるマルシェを開催する。 ・実施時期 8月22日（金）16時30分～20時 ・場 所 久下村駅周辺	1,479千円	久下自治振興会・丹波 県民局	●	●	
わが町考え隊事業の推進	わが町考え隊（hesocityclub）を中心に、SNSによる情報発信、ワークショップ等住民参加型イベントの開催等、地域活性化策を展開する。	700千円	北播磨県民局 hesocityclub(hcc)	●	●	

令和7年度の取組（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
【新】「北播磨かんきょうフェスタ」の開催	J R加古川線を利用してもらい子どもたち楽しく環境に親しんでもらうイベントを開催した。 ・実施時期 6月8日（日） ・場 所 日本へそ公園及び日本へそ公園駅前 ・実施結果 来場者約900名 （うち鉄道利用者約180名）	1,000千円	北播磨県民局 西脇市		●	
【新】環境学習ツアーの実施	久下村駅等を発着とし、丹波地域の生物多様性や森林環境を学ぶことにより、加古川線の更なる利用促進に繋げる。 ・実施時期 8月9日（土） ・実施場所 丹波の森公苑	1,504千円	丹波県民局		●	
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業（県・市町協調事業）	駅周辺の活性化により鉄道の利用促進を図る団体等の活動費の一部を助成する。	800千円	兵庫県、西脇市、丹波市		●	●
通学定期券購入補助事業	通学定期券を購入する市内在住の学生に対し購入費を助成する。	2,982千円	西脇市、丹波市	●		
【新】通勤定期券購入補助事業	通勤定期券を購入する市内在住・在勤の者に対し購入費を助成する。	1,425千円	西脇市、丹波市	●		
定期券購入者への自転車貸出事業	通勤・通学定期券購入者へ自転車を無償で貸し出し、駅からの二次交通の確保につなげる。	296千円	西脇市	●		
社会学習利用乗車券購入補助事業	小中高校やこども園などがJR加古川線を利用して行う社会学習活動に対し運賃の一部を助成する。	550千円	西脇市、丹波市	●	●	
団体利用乗車券購入補助事業	JR加古川線を団体利用する場合の運賃の一部を助成する。	700千円	西脇市、丹波市	●	●	

令和7年度の取組（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
【新】西脇市制20周年記念事業 JR加古川線イベント列車の運行	市制20周年を契機に地域の公共交通の重要性和JR加古川線沿線の地域の魅力を再認識することを目的に、貸切イベント列車を運行する。	500千円	西脇市		●	
【新】「ぶらり加古川線tabiwa 1 Dayパス」の提示で入館無料	日本へそ公園駅付近にある「岡之山美術館」と「にしわき緯度経度地球館」の入館料を無料にする。 ・実施期間：4月13日（日）～10月13日（月・祝）	—	西脇市		●	
JR加古川線の1日乗り放題切符「ぶらり加古川線tabiwa 1 Dayパス」の購入者を対象	リニューアルオープンする「たんば恐竜博物館」（ちーたんの館）の入館料の無料及びミュージアムショップでのノベルティ配布を実施する。 ・実施期間：7月12日（土）～10月13日（月・祝）	—	丹波市		●	
JR加古川線地域活動活性化事業	地域住民団体が地域団体活性化にかかる事業を実施する。	1,000千円	JR加古川線（西脇市駅－谷川駅）維持・利用促進 地域協議会	●	●	
JR西日本アプリ「WESTER」 を活用した沿線情報の集約・発信	沿線でのイベント情報等を、JR西日本アプリ「WESTER」のおでかけ情報に掲載し、誘客を促進する。	—	JR西日本、沿線自治体		●	
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信する。	—	JR西日本		●	
加古川線プロモーション動画 放映、ポスター掲出	加古川線沿線のお出かけスポットを紹介する広告を近畿地方の駅や車内で実施する。今回は関西空港駅のビジョンで放映。	—	JR西日本		●	

令和7年度の取組（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
沿線行事のP R	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出する。	—	JR西日本		●	
【新】「WESTER」デジタルスタンプラリーの実施	JR西日本アプリ「WESTER」を活用した、駅や対象スポットを巡るスタンプラリーを通じて誘客を促進する。 ・実施期間：4月13日（日）～6月13日（金）	—	JR西日本		●	
【新】利用実態調査	乗車・降車駅、利用者属性について乗り込み調査を実施する。	—	JR西日本	●	●	
【新】加古川線の増発及び特急列車を谷川駅に臨時停車する実証実験	昼間時間帯の列車を増発することで、加古川線（西脇市～谷川駅）の利用が増加するかどうか検証する。併せて、特急こうのとり谷川駅への臨時停車を実施する。 ・実施期間：4月13日（日）～10月13日（月・祝）	—	JR西日本	●	●	
【新】おとな旅あるき旅放送	テレビ大阪の番組で、俳優の三田村邦彦さんがゲストを連れて、加古川線の「オススメぶらり旅」を紹介する。 ・放送日：4月26日（土）	—	JR西日本		●	
【新】「ぶらり加古川線tabiwa 1 Dayパス」の発売	加古川線を1日乗り放題できるデジタルパスを発売する。 ・実施期間：4月13日（日）～10月13日（月・祝）	—	JR西日本		●	
【新】週末開催！西日本じまん市	万博開催期間中にJR西日本と地域が連携し、大阪駅、新大阪駅を舞台に地域の魅力を発信する。	—	JR西日本、沿線自治体		●	

令和7年度の取組（一覧）

加古川線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
参考：JR加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道利用促進協議会事業						
列車内鉄道絵画展	県内の園児・児童を対象に列車や駅をテーマにした絵画を募集し列車内絵画展を開催する。	－	交通事業者、商工会議所、市町、県		●	
鉄道沿線ガイドの作成	鉄道沿線で開催されるイベント等の魅力情報を掲載したガイドを発行する。	－	交通事業者、商工会議所、市町、県		●	
参考：丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会事業						
【新】二次交通の定期運行による恐竜スポット周遊促進事業	大阪・関西万博に合わせて、久下村駅と谷川駅から「たんば恐竜博物館」を結ぶ「グリーンスローモビリティ」の定期運行と電動自動車「トゥクトゥク」の貸出しにより、恐竜化石発見地等の恐竜スポットを周遊する。	－	自治体、商工会、観光協会、民間団体等		●	

令和 6 年度の主な取組結果

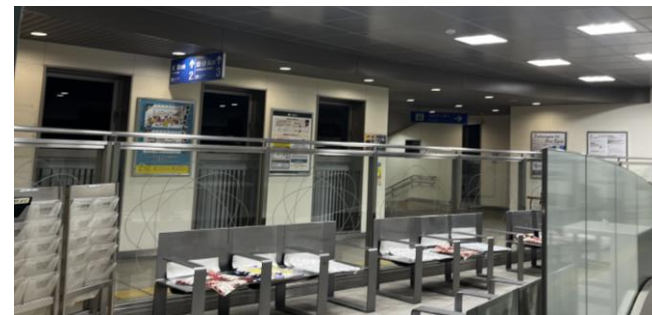
姫新線WT

R6の方向性

- ①日常利用の促進：駅環境や利用補助の充実等による利便性向上
- ②観光需要の促進：観光コンテンツ発掘・改良やイベント等による利用促進
- ③まちづくりと一体となった魅力創出：社会活動家等と連携した沿線地域活性化の取組

R6の総括

- ①通学定期券購入費や駐車場等使用料助成事業、駅照明LED化等により利便性向上の取組が着実に推進
- ②恒例の人気イベントに加えてランタン祭りやデジタルサイネージを用いた映像放映等、新たな切り口での魅力発信により観光需要の掘り起こしに寄与
- ③地域の社会活動家が中心となった活動が、商店街や地元自治会等の地域のステークホルダーとの連携へと展開し、取組が浸透・拡大



たつの市

ご利用は2人以上のグループで！
姫新線・智頭線で
出かけませんか？

かたち
片道切符を支給します。

■区間
○JR 姫新線 姫新駅～津山駅間
○智頭線 智頭駅～上郡駅～智頭駅間
※智頭線内から発着する列車のみが対象です。
※乗車券のみでの支給で特急券は対象となりません。

■対象
○駅内在往、在駅、在学の2人以上のグループで
鉄道を利用する場合に、切符を複数支給します。
ただし、通勤や通学での利用は対象となりません。
また、支給は1人につき月1回までです。
※高校生以下のみでの申請はできません。

■期間
○令和6年4月～令和7年3月

■申込
○申込書に必要事項を記入いただき、
ご利用日の前月まで窓口にお申し込みください。

■留意事項
① 予算の範囲内で実施です。
※予算がなくなった場合には、申請受付を終了しますのでご了承ください。
② 切符の領収書となります。
※切符の半額助成金と、ご利用日の前月まで「駅まで」にお申し込みください。
③ 申請書類は、姫新線・智頭線、各支所・出張所のほか、駅4ヶ所にも備置しています。

～詳しい内容の問合せ、お申し込みは 姫新線智頭線 まで～
姫新線智頭線 支所・出張所 電話：0864-743322・0492

佐用町大学生等通学定期券購入助成制度のご案内

大学生、短大生、専門学校生等の
通学定期券購入費の一部を助成します！

姫新線・智頭線に利用する学生が、大学生等にかつての通学費を助成する
ことにより、姫新線・智頭線の利用促進を図り、地域の活性化につなげることを
目的として、姫新線・智頭線の沿線に在住する学生を対象とした制度です。

支給対象となる方 次のすべてを満たす方

- (1) 在学中に在学し、かつ生活の拠り所がある大学生等（全日制）
- (2) 上記の範囲内にある、かつ、在学中に在学する学生（短大生、専門学校生）
- (3) 通学する大学・短大・専門学校は、姫新線・智頭線に利用する大学・短大・専門学校であること
- (4) 在学中に在学する大学・短大・専門学校は、姫新線・智頭線に利用する大学・短大・専門学校であること
- (5) 在学中に在学する大学・短大・専門学校は、姫新線・智頭線に利用する大学・短大・専門学校であること
- (6) 在学中に在学する大学・短大・専門学校は、姫新線・智頭線に利用する大学・短大・専門学校であること

支給対象となる期間

- (1) 令和6年4月～令和7年3月
- (2) 令和6年4月～令和7年3月
- (3) 令和6年4月～令和7年3月
- (4) 令和6年4月～令和7年3月
- (5) 令和6年4月～令和7年3月
- (6) 令和6年4月～令和7年3月

申請に必要な書類

- (1) 通学定期券の購入履歴の写し（利用に当たっては、利用履歴の写しを提出してください）
- (2) 通学定期券の購入履歴の写し（利用に当たっては、利用履歴の写しを提出してください）
- (3) 通学定期券の購入履歴の写し（利用に当たっては、利用履歴の写しを提出してください）
- (4) 通学定期券の購入履歴の写し（利用に当たっては、利用履歴の写しを提出してください）
- (5) 通学定期券の購入履歴の写し（利用に当たっては、利用履歴の写しを提出してください）
- (6) 通学定期券の購入履歴の写し（利用に当たっては、利用履歴の写しを提出してください）

申請可能期間

- (1) 通学定期券の購入履歴の写し（利用に当たっては、利用履歴の写しを提出してください）
- (2) 通学定期券の購入履歴の写し（利用に当たっては、利用履歴の写しを提出してください）
- (3) 通学定期券の購入履歴の写し（利用に当たっては、利用履歴の写しを提出してください）
- (4) 通学定期券の購入履歴の写し（利用に当たっては、利用履歴の写しを提出してください）
- (5) 通学定期券の購入履歴の写し（利用に当たっては、利用履歴の写しを提出してください）
- (6) 通学定期券の購入履歴の写し（利用に当たっては、利用履歴の写しを提出してください）

申請方法

通学定期券の購入履歴の写し（利用に当たっては、利用履歴の写しを提出してください）

お問い合わせ先
姫新線智頭線 支所・出張所 電話：0864-743322・0492
Eメール：shikoku@shikoku-railway.jp

佐用町



高校生カフェ(コバコ)



ランタン祭り

1 たつの市姫新線駅周辺駐車場等使用料助成事業

日常利用の促進

【概要】

事業内容 駐車場、駐輪場の月極使用料の**全部**または**一部助成**

実施主体 たつの市（R6予算：3,488千円）

実施期間 令和6年度

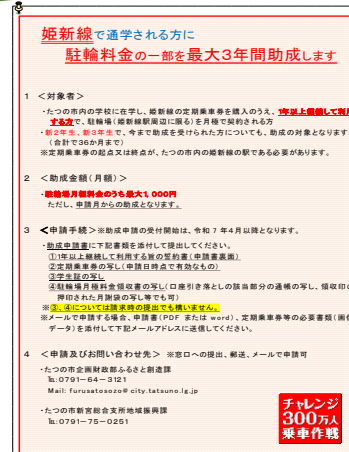
実施結果 申請者：187名（R7.3月現在）

通学：171名 通勤：16名

たつの市在住：65名 佐用町在住：14名 その他：108名

【実施状況・課題】 昨年度と比較し申請者数が減少した。（R6.3月：195名）

【今後の展開】 引き続き、広報やチラシで事業周知を図る。



【市内高校へのチラシ】

【R6広報誌】

2 佐用町姫新線等鉄道利用促進事業

日常利用の促進

【概要】

事業内容 ①佐用町大学生等通学定期券購入助成事業
佐用町内在住の大学生等の**通学定期券購入費用を助成**

実施主体 佐用町（R6予算：8,000千円）

実施期間 令和6年度

実施結果 R6年度時点利用者数62名
（R5年度末時点利用者数71名）

【実施状況・課題】 一部下宿等により利用されなくなる事例もあるが、継続して一定数の利用がある。

【今後の展開】 特に進学先を選択する際に自宅からの通学を検討してもらえるようPRする。

【概要】

事業内容 ②鉄道利用促進のための乗車券支給事業
佐用町内の駅から鉄道を利用する者に、**片道分※の乗車券を支給** ※津山～姫新間

実施主体 佐用町（R6予算：800千円）

実施期間 令和6年度

実施結果 R6年度時点申請件数210件、利用者数815名
（R5年度時点申請件数178件、利用者数680名）

【実施状況・課題】 制度の周知拡大とともに利用者は増加傾向にある一方、利用者が固定化している傾向がある。
【今後の展開】 未利用者に対し本制度を利用して姫新線に乗ってもらえるような取組を検討したい。

3 姫新線ランタン祭り【新】

観光需要の増加

【概要】

事業内容 姫新線沿線の佐用町役場駐車場にて夜空にLEDライトで光るランタンを浮かべて幻想的な雰囲気を楽しむ「**姫新線ランタン祭り**」を実施

実施主体 西播磨県民局（R6予算：545千円）

開催日時 11月30日

来場者数 約500名（**姫新線利用者：約150名**）

実施結果 遠方からの姫新線利用者や地元の方等多くの来場者により、駅周辺の活性化に寄与した。

【実施状況・課題】

地元ケーブルTVによる取材や、来場者によるSNS投稿により広く情報発信することができた。

【今後の展開】

沿線イベントのモデルとして成果を地域活動団体等と共有していく。（複数団体より実施方法等について問い合わせ有）



【ランタン打上げの様子】



【募集チラシ】

4 姫新線で行くフィールドパビリオン体験ツアー

観光需要の増加

【概要】

事業内容 **山城ガイド付きのハイキング**及び、ひょうごフィールドパビリオンにも認定されている**皆田和紙の紙すきとオリジナルうちわ作り**を体験。

実施主体 西播磨県民局（R6予算：212千円）

開催日時 3月22日

参加人数 **18名**

【実施状況・課題】

参加者アンケートではまた姫新線に乗りたいとの回答を獲得。沿線の歴史や伝統行事を知ってもらう機会になった。

【今後の展開】

万博開催を契機に県内・外へ姫新線をPRしていく。



【上月城ハイキング】



【皆田和紙紙すき体験】

5 「兵庫デスティネーションキャンペーン」のアフターキャンペーンの取組

観光需要の増加

【概要】

事業内容 JRグループと自治体、地元観光業者、旅行会社等が一体となった観光キャンペーン。大阪・奈良・京都を含むデジタルパスを発売し、幅広く誘客を図る。

実施主体 JR西日本、沿線自治体

実施期間 7月1日～9月30日

【実施状況・課題】

ひょうご夏の体験デジタルパス（2日間用・3日間用）の発売
及びガイドブック、ポスターの配付



6 利用実態調査、利用促進活動

観光需要の増加

日常利用の促進

【概要】

事業内容 乗車駅・降車駅、目的、利用頻度、二次交通等についてのアンケート調査を実施。併せて、兵庫DCアフターキャンペーンパンフレット、ノベルティを配布し、鉄道利用の呼びかけを実施

実施主体 JR西日本

実施期間 6月17日、18日、29日、30日

実施結果 アンケート獲得数=961名、獲得率=30.6%
・平均乗車人数/日（平日2,067名、休日1,078名）
・最大乗車人数/1列車（平日168名、休日82名）

【実施状況・課題】

・鉄道をご利用されていない地域の方々への利用促進の呼びかけが必要である。

【今後の展開】

・昨年度、今年度のご利用実態調査の結果をまとめ、姫新線（播磨新宮～上月）の現状分析に活かす。



令和7年度の取組

姫新線WT

R7の方向性

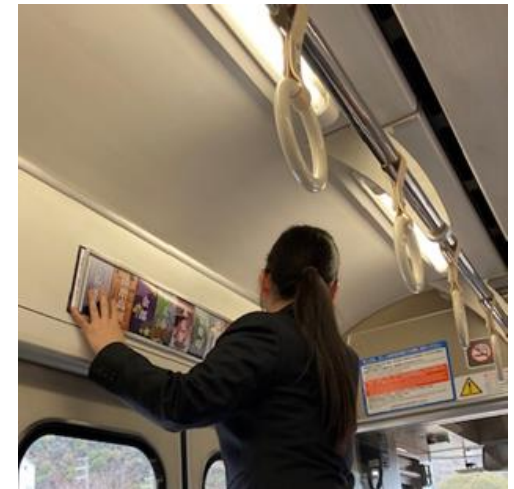
- ①日常利用の促進：利用補助による利便性向上と利用者のマイレール意識の醸成
- ②観光需要の促進：ひょうごフィールドパビリオン等の観光コンテンツの発掘や改良による利用促進
- ③まちづくりと一体となった魅力創出：社会活動家等と連携した沿線地域活性化の取組



中吊り広告イメージ：
R5ふるさと風景絵画コンクール受賞作品



屏風岩・鶴嘴山里公園ハイキング



姫新線車内路線図

令和7年度の取組（一覧）

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
たつの市姫新線駅周辺駐車場等使用料助成事業	定期乗車券により姫新線を利用する方の駐車場、駐輪場の月極使用料の全部又は一部を助成し、姫新線利用者の増加及びマイレール意識の醸成を図る	3,056千円	たつの市	●		
千本駅トイレ整備事業	千本駅のトイレを改修する	20,000千円	たつの市			●
姫新線を利用した遠足等のお菓子助成事業	姫新線を利用して遠足等を実施する市内のこども園にお菓子購入代金（1人につき200円程度）を支給	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）	●		
たつの市民まつりにおけるPRブースの出店	たつの市民まつりにおいて、姫新線クイズや、利用啓発パネルを掲示し、来場者に姫新線をPR	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）	●		
屏風岩・鶴嘴山里公園ハイキング	JR姫新線東鯨崎駅を出発し、因幡街道の宿場町の歴史に触れながら、寝釈迦の渡し・磨崖仏等のスポットを巡る冬の里山ハイキングを実施	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
【新】 龍野納涼花火大会メッセージ花火	龍野納涼花火大会にて、利用促進のメッセージを打ち上げとともに放送	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）	●		
【新】 姫新線に乗って工場見学	新宮地域の駅周辺にある企業で工場見学を実施	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
【新】 皮革まつり協賛イベント	姫新線で来場された方に地元特産品と交換できる引換券又はノベルティを配布し姫新線利用促進と併せて、皮革まつりへの誘客を図る	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	

令和7年度の取組（一覧）

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
オータムフェスティバル協賛事業	姫新線で来場された方に地元特産品と交換できる引換券を配布し、姫新線利用促進と併せて、オータムフェスティバルへの誘客を図る	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
【新】ノベルティの作成	姫新線をモチーフにしたノベルティを作成し、市内のイベント等へ姫新線で来場された方に配布し、利用促進を図る	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）	●		
しんぐうふるさとフェスタ協賛イベント	姫新線を利用して来場された方に播磨新宮駅にてノベルティを配布し、利用促進と併せてしんぐうふるさとフェスタへの誘客を図る	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（たつの市）		●	
佐用町大学生等通学定期券購入助成事業	町内在住の大学生等の通学定期券購入費用を助成し、地域公共交通の利用促進と若者世代の本町への定住促進を図る	6,000千円	佐用町	●		
鉄道利用促進のための乗車券支給事業	町内の駅から鉄道を利用する団体(2名以上)に、片道分の乗車券を支給	800千円	佐用町	●		
【新】駅周辺イルミネーション事業	佐用町合併20周年事業として実施。駅前にイルミネーションを設置する地域団体に対し装飾LED電球の購入補助	300千円 （一部姫新線利用促進・活性化同盟会予算充当）	佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会		●	●
【新】鉄道利用促進特典費用助成事業	佐用町合併20周年事業として実施。地域団体等が実施するイベントで姫新線利用促進のために利用者に特典を付与する際の経費補助	300千円 （一部姫新線利用促進・活性化同盟会予算充当）	佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会		●	●

令和7年度の取組（一覧）

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
栗ひろいと佐用町を巡るツアー	沿線の観光施設を巡るツアーとして、秋期に栗ひろいや周辺の観光施設など、秋を満喫するツアーを実施	—	佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会（佐用町）		●	
【新】啓発パネル作成と佐用高校生による利用促進活動への補助	姫新線利用促進イベント等で掲示する利用促進啓発パネルを作成する。また佐用高校生が取り組む利用促進活動の補助	—	佐用町、姫新線利用促進・活性化同盟会（佐用町）	●		●
会員事業所への姫新線利用呼びかけ	商工会HP、Facebook等のSNS及び会員へのDM発送により姫新線利用の呼びかけを実施	—	佐用町商工会	●		
JR姫新線の利用促進策について検討・実施	令和6年度に実施した高校生向けアンケートや、駅でのイベントの結果を踏まえ、効果的な事業を検討・実施	2,000千円	岡山県JR在来線利用促進検討協議会（姫新線WT）	●		
駅施設へのポスター・チラシ掲出	鉄道利用促進に繋がるイベント等、ポスターやチラシの配架依頼があれば可能な範囲で協力	—	JR西日本及び各自治体	●		
南光ひまわり祭りでのおもてなし （予定）	姫路駅で一日駅長によるお見送り 名誉駅長（播磨徳久駅）と佐用町商工会合同のお迎えや案内の実施	—	JR西日本及び佐用町等		●	
JR西アプリ「WESTER」を活用した沿線情報の集約・発信	各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西アプリ「WESTER」に集約して積極的に情報を発信	—	JR西日本及び各自治体		●	

令和7年度の取組（一覧）

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
<u>姫新線車内路線図</u>	龍野北高校総合デザイン科生徒による沿線の特産品などをデザインした車内路線図の作成（2025年度：17回目）	—	JR西日本及び兵庫県立龍野北高校		●	
イベント列車の運行	姫新線と沿線地域の地域資源を結ぶユニークな沿線イベントを実施（年度内 2回予定）	246千円	西播磨県民局		●	
姫新線で行くフィールドパビリオン体験ツアー	姫新線を利用した沿線地域のフィールドパビリオン体験ツアーを実施。姫新線のPR及び利用促進と万博開催に向けた機運醸成を図る				●	
<u>【新】沿線学生による「マイレール週間」の取り組み</u>	姫新線関係の中吊り広告や沿線中学生等による観光情報の車内放送などの取組を実施	385千円	西播磨県民局	●		
<u>【新】岡山県との連携事業</u>	JR姫新線は、兵庫・岡山両県を結ぶ広域的な鉄道ネットワークを形成する路線であるため、岡山県美作県民局と連携し、イベントの相互出展等を検討	100千円	西播磨県民局	●	●	
県民局職員による「月イチ！姫新線乗車大作戦」の推進	県民局職員に対し、月1回以上の姫新線乗車を呼びかけ	—	西播磨県民局	●		
姫新線グッズ作成	各イベントで配布できるようなノベルティを作成（絆創膏、ボールペン、ポケットティッシュ等）	—	姫新線利用促進・活性化同盟会 （西播磨県民局）		●	

令和7年度の取組（一覧）

姫新線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業（県・市町協調事業）	駅周辺活性化の取り組みを行う事業者、地域団体等に対する事業費の補助 ○ 補助対象 駅舎や駅周辺の遊休不動産等を活用した賑わい創出に資する取組等 ○ 補助上限額 200千円 ○ 補助率 定額 ○ 負担割合 県：市町＝1：1	200千円 たつの市 200千円 佐用町 200千円 西播磨県民局		●	●	
JR姫新線映像コンテスト受賞作品デジタルサイネージ	「JR姫新線映像コンテスト」の受賞作品をデジタルサイネージとして活用	100千円	西播磨県民局	●	●	
サイクルトレインの実施検討	自転車を折りたたまずに列車の車両に乗せるサイクルトレインの実施に向けた実証実験等について検討	—	姫新線利用促進・活性化同盟会（西播磨県民局）	●	●	
姫新線ファンクラブ	SNS「X」の公式アカウントのフォロワーをファンクラブの会員と定め、姫新線に関する情報を発信し、愛着を持ってもらえるようする	—	姫新線利用促進・活性化同盟会	●	●	

令和 6 年度の主な取組結果等

播但線WT

R6の方向性

- 「播但線鉄道整備・利用促進協議会」利用促進部会を中心に、利用促進策を企画、沿線駅前の環境整備を図る。
- JRの日常利用・観光利用（神河町）、「意識の醸成」「利用促進」「新たな移動手段の導入」の3本柱での公共交通政策展開（朝来市）により和田山駅以南の地理的優位性を活かし、JRのサービス水準を高めるとともに、生活利便性の向上、目的地へのアクセス手段など、まちづくり施策との連携を強化する。



【播但線鉄道整備・利用促進協議会の取り組み】

R6の総括

- 日常利用の定着等による輸送密度の向上
- ガジロウを起用した広報等による沿線の一体感
- マイレール意識の醸成
- コミュニティバスからデマンド型乗合交通への移行が好評



【長谷駅利用促進事業】



【はなあかりと湯〜たん】



【デマンド型乗合交通 運行車両】

1 JR利用促進補助金（3制度）

日常利用の促進

【概要】

- 事業内容** ①**特急はまかぜ利用促進補助金**
 ②**JR播但線利用促進補助金**
 ③**遠距離通勤・通学等補助金**

実施主体 神河町（R6予算：10,882千円）

実施期間 令和6年度

実施結果 ①**237件(739千円)**②**2,037件(3,563千円)**
 ③**320件(4,065千円)**

【実施状況・課題】 HPや駅への申請書設置による周知により申請件数、新規利用者確保に取り組んだ。

【今後の展開】 次年度は最終年度として効果の検証を行っていく。

制度	対象者	補助割合等
特急はまかぜ利用促進補助金	特急はまかぜを寺前駅で乗降利用する個人、又は団体	個人 1/2 : 年12,000円限度 団体 1/2 : 年48,000円限度
JR播但線利用促進補助金	新野駅・寺前駅・長谷駅からJR播但線を往復利用する者	普通乗車券購入費用の1/2 (月3,000円限度)
遠距離通勤・通学等補助金	新野駅・寺前駅・長谷駅を基点としてJR播但線を含む鉄道路線で50km以上通勤・通学する定期購入者 寺前駅から和田山駅間を利用して通勤・通学する定期購入者	月5,000円 (月額費用が5,000円未満の場合はその額)

2 長谷駅利用促進事業

観光需要の増加

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 JR播但線長谷駅利用人数を増加させるため、長谷駅周辺でのイベント開催や、利用促進に繋がる取り組みを委託する。

実施主体 **長谷地区の振興を考える会**（R6予算：1,200千円）

実施期間 令和6年度

6月15日ホテル祭り、7月14日長谷駅前納涼祭り、11月23日紅葉ウォーキング
 毎月13日長谷駅快速列車全停記念日乗車

実施結果 イベントでの播但線利用者：**271名**

【実施状況・課題】 各イベントごとに播但線利用者には、地区内で利用できる助成券を配布
 紅葉ウォーキングでは播但線に乗り移動するため大幅な乗車人数を確保した。

【今後の展開】 新規のイベントを検討し更なる利用促進のため工夫をしていく。



3 公共交通に対する意識醸成

日常利用の促進

観光需要の増加

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 公共交通を維持・確保するためには、市民とともに公共交通対策に取り組むことが重要である。令和6年度も継続して「**公共交通はみんなで守っていくもの**」であるということを認識いただく必要があり、**マイレール意識の醸成に向けた意識啓発**に取り組んだ。

特徴 公共交通ワークショップ、公共交通通勤ウィーク、生野高校「ゆめいくプロジェクト」

実施主体 朝来市

実施期間 ワークショップ 7月21日・12月22日
ウィーク 10月7日～10月11日 「ゆめいくプロジェクト」通年

実施結果 ワークショップ参加者：**44名** ウィーク通勤者：**延べ322名**
「ゆめいくプロジェクト」に対して、情報提供等を実施、学生の主体的な意識啓発を促進

【今後の展開】 ワークショップや通勤ウィークといった取組、学生の主体的な活動である「ゆめいくプロジェクト」への協力で市民の意識啓発を進めることができた。今後も継続的に実施



【ゆめいくプロジェクト発表会】

4 公共交通の利用促進

日常利用の促進

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 **各種助成制度の実施**、公共交通情報誌の発行を行い、公共交通の利用促進に努める。

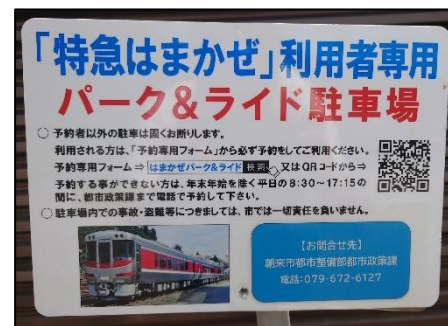
特徴 各種助成制度及び特急はまかぜ利用者パーク＆ライドを実施

実施主体 朝来市

実施期間 令和6年度

実施結果 助成制度利用者：**533名**・11団体
パーク＆ライド利用者：**384名**

【今後の展開】 助成制度の利用者は順調に推移しているが、制度によって利用者の差が激しい。継続利用に繋がるよう広報に注力する。



【はまかぜパーク＆ライド】



【公共交通情報誌 あさごナビ】

5 新たな移動手段の検討【新】

観光需要の増加

日常利用の促進

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概 要】

事業内容 市内公共交通の利便性向上と鉄道や路線バスからの2次交通の充実を図るため、**市内全域でデマンド型乗合交通**を段階的に導入

特 徴 コミュニティバス運行から**予約に応じて運行するデマンド型乗合交通**へ転換

実施主体 朝来市

実施期間 令和6年度：**利用者：9,662名**

実施結果 令和6年度4月から段階的に導入。令和6年度では利用者の**16%がJRでの乗継利用**。2次交通としても定着しつつある。

【今後の展開】 令和7年4月1日に市内全域に導入が完了する予定。引き続き2次交通手段の一つとして、利用促進に努める。



【運行車両】

6 播但線鉄道整備・利用促進協議会の取り組み

日常利用の促進

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概 要】

事業内容 昨年度に引き続き、**福崎町の「ガジロウ」を活用して広報活動を実施した**。本年度はJRに協力いただき、車内や駅構内での撮影を実施した。
併せて、10月を「**播但線利活用月間**」とし集中的な利用促進を図った。

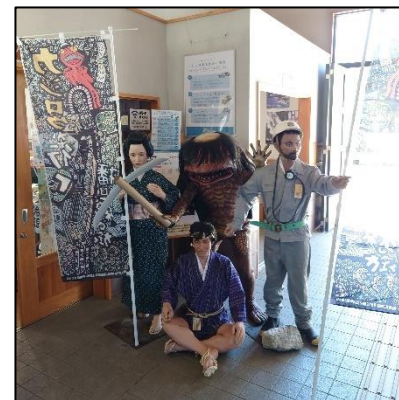
特 徴 「ガジロウ」を活用した特色のある広報活動の実施

実施主体 播但線鉄道整備・利用促進協議会

実施期間 10月

実施結果 SNSを中心に広報展開し大きな反響があった。また、利活用月間においては、沿線市町でのイベントを中心とした取組を実施した。

【今後の展開】 引き続き広報活動及び「播但線利活用月間」を実施し、幅広い層への浸透を図る。



【令和6年度の様子】

7 WESTERへの情報集約

観光需要の増加

【概要】

事業内容 各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して積極的に情報を発信する。

実施主体 JR西日本、沿線自治体

実施期間 通年

実施結果 朝来市：スポット15件、イベント13件
神河町：スポット8件、イベント4件 ※いずれもR7.5月時点

【実施状況・課題】 イベント数は好調に増えている。

【今後の展開】 JRとしては引き続き、イベント等を通じてWESTER新規DL数を増やす。



8 兵庫県但馬キャンペーン ひょうこと巡る 山陰線・播但線の旅

観光需要の増加

【概要】

事業内容 「駅メモ！」シリーズとコラボしたデジタルスタンプラリー

特徴 対象駅（12駅）や観光施設（15箇所）にチェックインポイントを設定

実施主体 沿線自治体、JR西日本

実施期間 2月23日～9月23日

実施結果 参加者：8,825名

【実施状況・課題】

- ・ラッピング列車の運行
- ・普通列車内でのポスター、城崎温泉駅でのオリジナル駅名標の設置
- ・車内の中吊りや主な駅のデジタルサイネージを用いた広告



【車内中吊り広告】



【大阪駅デジタルサイネージ】

9 兵庫DC アフターキャンペーン [新]

観光需要の増加

【概 要】

事業内容 JR西日本と自治体、地元観光事業者、旅行会社等が一体となった観光キャンペーン

特 徴 大阪・奈良・京都を含むデジタルパスを発売し、幅広く誘客を図る。

実施主体 JR西日本、兵庫県、沿線自治体

実施期間 7月1日～9月30日

【実施状況・課題】

- ・ひょうご夏の体験デジタルパス（2日間用・3日間用）の発売
- ・ガイドブックの配布、ポスターの掲出



10 かに力二はまかぜ・はなあかりの運行 [新]

観光需要の増加

【概 要】

事業内容 臨時特急「かに力二はまかぜ」に「地域の華を列車に集め、お客様と地域の縁を結ぶ列車」をコンセプトにした観光列車「はなあかり」を増結することで、北近畿への旅をゆったりと贅沢にお楽しみいただく。

特 徴 車内で兵庫県の工芸品・アート作品を展示

実施主体 JR西日本

実施期間 1月6日～3月14日 ※木曜日除く。

【実施状況・課題】 新聞やテレビに取り上げられ話題作りができています。

【今後の展開】 観光列車等を通じて、地域の魅力を発信していく。



【はなあかりと湯～たん】

11 銀の馬車道・鉱石の道サイクルトレイン

観光需要の増加

【概要】

事業内容 「銀の馬車道・鉱石の道」の魅力発信を目的とした**サイクルトレイン運行**

特徴 JR播但線「香呂駅～生野駅」区間を自転車を折りたたまず、そのまま列車に乗せて移動

実施主体 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会、中播磨県民センター、特定非営利活動法人姫路コンベンションサポート、JR西日本

実施期間 10月20日

実施結果 **参加者：58名**

【実施状況・課題】 60名の応募があり、当日は盛況だった。



12 朝来市「ふるさとの光」発見プロジェクト【新】

観光需要の増加

【概要】

事業内容 **西日本の6地方新聞社が連携**して、地域資源の**魅力を発信するプロジェクト**

特徴 各紙発行エリアとおきの地域情報をお届けする取り組みで、参加6地方新聞社が持ち回りで運営・実施

実施主体 「ふるさとの光」発見プロジェクト実行委員会、特別協賛：JR西日本

実施期間 12月～3月

実施結果

- 1月11日 「**この地に、無二の輝き**」
- 2月8日 「**心にきらめき 感じに行こう**」
- 3月8日 「**絶え間ない営み、宿る記憶**」

【実施状況・課題】 朝来市の「銀の馬車道・鉱石の道」や「竹田城跡」など5テーマ24件を「ふるさとの光」に選定

【今後の展開】 特集紙面やサイトで発信していく。



令和 7 年度の取組

播但線WT

R7の方向性

- 日常利用・観光利用の促進
- 駅整備等によるまちづくり施策との連携強化
- 生活利便性向上施策の促進
- マイレール意識の定着



【1日乗車券500円観光バス「たじまわる」】



【播但線鉄道整備・利用促進協議会の取り組み】



【デマンド型乗合交通 運行車両】



【公共交通ワークショップ】

令和7年度の取組（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
JR利用促進補助金(3制度)	①特急はまかぜ利用促進補助金②JR播但線利用促進補助金③遠距離通勤・通学等補助金	10,700千円	神河町	●		
長谷駅利用促進事業	「長谷地区の振興を考える会」に長谷駅の利用促進を図るための事業実施を委託	1,350千円	神河町	●		●
公共交通に対する意識醸成	「公共交通はみんなで守っていくもの」であるというマイレール意識の醸成に向けた意識啓発に取り組む。公共交通ワークショップ、公共交通通勤ウィーク等を実施	211千円	朝来市	●	●	●
公共交通の利用促進	各種助成制度の実施、公共交通情報誌の発行を行い、公共交通の利用促進に努める。	662千円	朝来市	●		●
特急はまかぜ利用促進補助金 特急はまかぜ利用者専用パーク&ライド	特急はまかぜの利用者に対する補助金及びパーク&ライド駐車場の確保	1,316千円	朝来市	●		
JR播但線団体利用促進補助金	播但線の普通列車を4人以上の団体に利用した場合に支給する補助金の実施	107千円	朝来市		●	
公共交通通勤利用助成金 (補助金・奨励金)	通勤時に鉄道や路線バスを定期利用している者又は企業等に対して支給する、補助金・奨励金の実施	519千円	朝来市	●		

令和7年度の取組（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
駅周辺駐車場利用料金助成事業補助金	JR西日本の通勤定期券を購入して鉄道を利用し市内駅周辺の月極駐車場を利用する市民に対する駐車場利用料金の補助の実施	100千円	朝来市	●		
デマンド型乗合交通の活用	市内全域で導入されたデマンド型乗合交通を活用し、2次交通の充実を図る。	128,605千円	朝来市	●	●	●
情報発信	ケーブルテレビや市広報誌、SNSなどの情報媒体を使った情報発信の実施	—	朝来市	●		●
利用促進	市民・行政・交通事業者の3者が一体となった利用促進の実施(市職員による利用促進の取組など)	—	朝来市	●	●	●
播但線鉄道整備・利用促進協議会の取り組み	福崎町の「ガジロウ」を活用した広報活動や特定期間を「播但線利用月間」として集中的な利用促進を図る。	—	播但線鉄道整備・利用促進協議会	●	●	●
【新】JR生野駅東口待合室改修事業	JR生野駅東口待合室を中高生や地域住民の意見を取り入れながら改修し、鉄道利用者の利便性向上を図る。	500千円	朝来市	●		●
【新】JR和田山駅周辺整備事業	JR和田山駅周辺の利便性向上を図るため、令和7年度は、南北自由通路の基本設計、駅南ロータリーの整備等を予定	91,000千円	朝来市	●		●

令和7年度の取組（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常利用	観光需要	まちづくり
JRローカル線駅周辺活性化モデル事業	JRローカル線の駅舎や駅周辺の遊休不動産等を活用し、駅周辺に人の流れや賑わいを生み出す事業者、自治会等の地域団体、学校等の取組を支援することにより、駅周辺の活力や魅力を向上させ、利用拡大を図る。	200千円×2	兵庫県 (市町協調)	●	●	●
JRハイキング造成モデル事業	JR播但線(竹田～生野間に限る。)の駅を起終点とし、JR播但線利用者を対象にしたガイド付きハイキングツアー造成を支援し、同線の魅力向上及び利用拡大を図る。	750千円	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●		
レンタサイクル利用補助事業	兵庫県但馬・鳥取県東部地域の交通・観光連携協議会等と連携して京阪神からの鉄道利用者の2次アクセスを充実 【期間】4月13日～11月30日		但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会		●	
【新】但馬地域における公共交通の 利便増進に向けた人材育成事業	各ステークホルダーや既存ネットワークで顕在化している課題の共有と解決に向けた方策、 「持続可能な公共交通体系」の方向性を整理し、広域連携を主導できる人財を育成する。 また、乗継の利便性向上、運賃収受方法の統一化、共通運賃制度等を念頭に置いた連携の可能性を検討する。 (「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト「モビリティ人材育成事業」(国庫10/10)を活用)	14,769千円 (国庫補補助金)	但馬地域鉄道利便性 向上対策協議会	●	●	
【新】FPデジタルスタンプラリー	但馬のFP等の周遊を促すデジタルスタンプラリーを実施し、各FPの魅力を体感してもらう。 【期間】11月～1月(予定)	1,163千円	兵庫県		●	
1日乗車券500円観光バス 「たじまわる」の運行	JR各駅等と観光地を結ぶ1日乗車券500円観光バス「たじまわる」の運行を軸に、主要観光地の2次交通を確保 ガイド無料や観光施設入館無料など、立ち寄り先での特別体験を企画	15,180千円	但馬観光協議会		●	

令和7年度の取組（一覧）

播但線

項目名	概要	予算	実施主体	取組の区分		
				日常 利用	観光 需要	まち づくり
但馬観光の将来を見据えた地域内周遊の促進	大阪・関西万博やワールドマスタースゲームズ関西を契機に発展を目指す地域コンテンツへ観光客を送客する2次交通手段の確保や、今後の運行に向けた検証・検討のため、交通事業者が実施する周遊観光に資する事業に対し、事業費の一部を支援し観光地と公共交通機関を結ぶ2次交通の充実を推進	1,000千円	兵庫県		●	
WESTERへの情報集約	各自治体からご提供いただいた沿線の観光スポットやイベント情報を、JR西日本アプリ「WESTER」に集約して情報発信	—	JR西日本 各自治体		●	
観光情報誌「西Navi」を通じた地域のイベント情報の発信	JR西日本全エリアの駅に配架されている西Naviを通じて、地域のイベント情報を発信	—	JR西日本		●	
かに力二はまかぜの運行(予定)	冬季に臨時特急「かに力二はまかぜ」を運行	—	JR西日本		●	
【新】利用促進リーフレットの作成 (予定)	普段鉄道をご利用されていない住民の皆さまに向けて、沿線のお出かけスポット、施設と共に播但線(和田山～寺前)の置かれている現状を知っていただくことで利用促進に繋げるリーフレットを作成	—	JR西日本		●	
【新】ご利用実態調査(予定)	乗車・降車駅、目的、利用頻度、2次交通等についてのアンケート調査を実施	—	JR西日本		●	
沿線行事のPR	沿線行事のポスター・パンフレット等を駅に掲出	—	JR西日本		●	

広域的な取組（令和 6 年度）

- 昨年の兵庫デスティネーションキャンペーンで得られた兵庫への観光の気運をさらに高めるため、JR西日本と連携した兵庫デスティネーションキャンペーンアフターキャンペーンを実施

概要

目的：2025年大阪・関西万博を見据えた**本県への観光誘客および県内周遊・滞在**を促進
フィールドバビリオンなど魅力ある着地型コンテンツの発信

期間：令和6年7月1日～9月30日

取組成果：【延べ宿泊者数】 **447万人**（目標：430万人<**達成率 104%**>）
（昨年同期比：111%、令和元年同期比 113%）

実施内容：

ア 魅力的な着地型コンテンツの発信・販売

【体験コンテンツ造成数】 41件（昨年度：66件）

【体験コンテンツ参加者数】 97,935人（昨年度：173,000人）

イ 県内外からの誘客を促すプロモーション

・オープニングセレモニー

【開催日】 7月6日（土） 【会場】 JR城崎温泉駅

【来場者】 約60人

【内 容】 特急こうのとり到着セレモニー、お出迎えパフォーマンス 等

・WEST EXPRESS銀河で楽しむ兵庫 夏の体験イベント

【開催日】 8月17日（土） 【会場】 JR神戸駅

【来場者】 約2,700人

【内 容】 銀河車内でのジャズコンサート、体験コンテンツ 等

ウ 観光型MaaS等を活用したデジタルプロモーション

大阪や京都、滋賀、奈良、岡山を含む県内のJR線自由区間と
県内の観光施設入場券などがセットになった周遊きっぷを販売した。

【デジタルパス販売枚数】

・2日間パス：約6,900枚（昨年比：193%）

・3日間パス：約7,000枚（昨年比：289%）

<オープニングセレモニー>



<WEST EXPRESS銀河イベント>



有識者によるご提案の実践

各路線の取組の**情報発信・プロモーションの展開**による**JRローカル線利用の啓発**

県民だよりへの掲載

実施概要：新聞各紙[朝日、毎日、読売、産経、日経、神戸、日本海]への折り込み、各県民局、市役所、町役場等での配架。

実施内容：2024年11月号に4路線（山陰線、播但線、姫新線、加古川線）のイベント情報を掲載。

各県民局がJRローカル線のイベント情報や路線の重要性を掲載

4路線イベント掲載

旬トピ!

6 行楽の秋はJRローカル線で個性あふれる沿線のまちへ

JRローカル線は県民の生活になくてはならない重要なインフラです。人口減少等で利用者が減っている今、各地ではローカル線沿線の魅力を発信するとともに、駅周辺ににぎわいを生み出す企画やイベントを開催。この秋はJRローカル線に乗って個性あふれる地域に出かけ、沿線のまちを盛り上げましょう。(県交通政策課)



「たじまわる」プレミアム号11月限定
豊岡市の城下町出石や朝来市の竹田城跡など、但馬地域を満喫する観光周遊バス。
●11月の土曜、日曜、祝休日(「城崎温泉」駅9時25分発、18時20分着)
●1日乗車券500円 ●但馬観光協議会
●0796-26-3686 ●0796-23-1476
たじまわる



ジェリークエスト
西脇市の「西脇市」駅や丹波市の「谷川」駅など、5カ所のチェックポイントでクイズに挑戦するLINE謎解きゲーム。
●11月9日(土)～2025(令和7)年1月31日(金)
●無料 ●西脇市まちづくり課
●0795-22-3111 ●0795-22-1014
西脇市ジェリークエスト



姫新線ランタン祭り
※画像はイメージです
参加者が打ち上げるランタン100個が佐用町の夜空を彩ります。打ち上げは要申し込み。
●11月30日(土)15時30分～18時30分
●佐用町役場駐車場(「佐用」駅から徒歩すぐ)
●無料 ●11月8日(土)までに各駅へ
●西播磨県民局総務企画室
●0791-58-2113 ●0791-58-2328
姫新線ランタン祭り



紅葉ウォーキング
神河町の「長谷」駅(集合)から朝来市の「生野」駅へ。降りた紅葉する山々を堪能しながら「長谷」駅まで約9kmをウォーキング。
●11月23日(土)10時～14時(受け付け9時～)
●一般1,100円、小学生800円(弁当代込み)
●●11月15日(土)までに各駅でセンター長谷へ
●0790-35-0001 ●0790-35-0736
播但線 紅葉ウォーキング

地域面 鉄道利用啓発



丹波県民局からのお知らせ

丹波版の問い合わせは ▶ 丹波県民局総務課総務防災課へ
〒669-3309 丹波市柏原町柏原688

☎0795-73-3718 ☎0795-72-3077



困ったとき、
まずは[さわかや県民相談]へ
☎0120-32-7830
携帯・電話からは ☎0795-72-0500
平日(祝日等を除く)9時～17時30分

地域の鉄道を守って未来へ

みんなで乗ろうJR加古川線

鉄道は地域の生活や交流に欠かすことのできない大切なインフラですが、丹波地域を走るJR加古川線(「西脇市」駅～「谷川」駅間)は近畿で最も利用者が少ない状況です。みんなて乗って、地域の鉄道を守りましょう。

●丹波県民局総務防災課 ☎0795-73-3721 ☎0795-72-3077

味わいのある加古川線

加古川線に乗るといろいろな物語が見えてきます。平日は地域の足として通勤・通学に、土日は観光客の足として利用されています。乗って初めてローカル線の魅力が分かります。1週間に一度でも加古川線に乗ってみませんか。

久下自治振興会会長 清水 邦泰さん



リレーマルシェ

「JR加古川線リレーマルシェ」では、沿線地域でさまざまな催しを開催しています。この夏も楽しいイベントが盛りだくさん。JR加古川線で来場すると、記念グッズがもらえ、限定抽選会にも参加できます。

山田錦日和

📍「日本へそ公園」駅前

山田錦の日本酒やグルメ(唐揚げ、かき氷、米粉パンなど)、ビールなどが盛りだくさん。よさこい踊りも予定しています。

7月26日(土) 16時30分～20時

●北播磨県民局地域振興課
●0795-42-9415 ●0795-42-7535



久下村夜市

📍「久下村」駅周辺

日本酒やビールの販売、キッチンカーが人気。子どもも楽しめる企画をたくさん用意しています。

8月22日(金)
16時30分～20時



にぎわう夜市会場。

もっと便利に、もっとお得に

大阪・関西万博
期間は臨時増発中

万博期間中(10月13日(月)～10月13日(月)までは「西脇市」駅～「谷川」駅間で1日2往復の臨時増発中。



詳しくはこちら▶

レンタサイクルを開始

「久下村」駅最寄りの久下自治会館で、レンタサイクル事業が始まりました。加古川線利用者は無料で自転車をレンタルできます。「黒田庄」駅、「比延」駅でも実施しています。



詳しくはこちら▶

乗り放題バスが登場

加古川線全線が1日乗り放題になる「ふらり加古川線tabiwa 1Dayバス」を販売中。10月13日(月)までのお得で便利なデジタルバスです。



詳しくはこちら▶

団体利用者の
乗車券購入を補助

丹波市民が3人以上で市内の駅から加古川線(「西脇市」駅～「谷川」駅間)を利用すると、1人につき上限1,000円の補助が受けられます。利用には申請が必要です。



詳しくはこちら▶

➤有識者によるご提案の実践

各路線の**魅力発信・プロモーションの展開**による**JRローカル線利用の啓発**

のぼり旗の作成・掲出

実施概要：沿線高校生が作成したポスターデータを「のぼり旗」に加工

(参考：協力高校一覧) 豊岡総合高校 美術部 (山陰線)、西脇高校 写真部 (加古川線)

龍野北高校 総合デザイン科 (姫新線)、和田山高校 美術部 (播但線)

実施内容：**マイレール意識醸成**のため**市役所・町役場**などをはじめ、**沿線周辺の公民館、教育・文化施設、各沿線**で実施される**利用促進イベント**等で掲出



(参考)各沿線での掲出風景



佐用町役場



丹波県民局

広域的な取組（令和 7 年度）

➤ 2025年大阪・関西万博に合わせて、**地域のSDGsを体現する活動の現場**そのもの(フィールド)をパビリオンに見立て、地域の人々が主体となって発信することで、**国内外の多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」**を展開

認定数

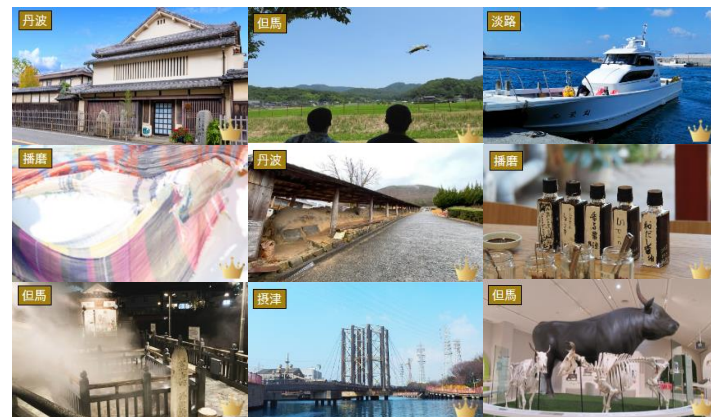
認定プログラム数：**268**件

(うちプレミア・プログラム※：9件)

※認定プログラムのうち、特に地域の核となる取組



ひょうご
フィールドパビリオン



➤ 万博の期間中に**JRローカル線利用の拡大に向けた取り組み**を推進

沿線へのアプローチ

加古川線の取組み



山陰線の取組み

ひょうご EXPO DREAM BUILDERS (子どもの夢プロジェクト)
子どもたちが主体的に関わり共創するプロジェクト(貸切列車による体験 7/21)

兵庫県

浜坂駅～城崎温泉駅 2 往復
1 4 組 3 7 名の親子が参加

地域の活性化
知名度向上

子どもたちが主
体となる機会の
提供



プロモーションの充実

- ホームページや展示等において、FPや既存の地域資源を活かした**交通手段も含めたモデルコースを策定・提示**
- モニターツアーやファムトリップ等で、各FPを繋ぐコースを廻り、SNSやメディア等で発信

➤有識者によるご提案の実践

各路線の**魅力発信・プロモーションの展開**による**JRローカル線利用の啓発**

兵庫県庁での情報発信

実施概要：ショーウィンドウでのJRローカル線啓発PRの展開。

実施期間：5月15日～30日

実施内容：4路線（山陰線、播但線、姫新線、加古川線）のPR動画やポスター掲示等を実施。



県内大型商業施設でのチラシ配架

実施概要：県内に展開する大型商業施設(全26店舗)で実施。

実施期間：8月～9月

実施内容：万博期間中に増発される加古川線のPRのほか、県内のJRローカル線の利用啓発を実施